



「肝臓内科レター第72号」発行にあたって

飯塚病院肝臓内科 部長 本村 健太

明けましておめでとうございます。先生方のご健勝とコロナ禍の克服を祈念しますとともに、本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。今月は飯塚病院でのウイルス肝炎患者の拾い上げについて述べます。

<はじめに>

B型肝炎に対しては、2000年以降は核酸アナログ製剤の投与が可能になり、B型肝炎ウイルスの増殖を抑制することで肝炎の進行を止めることができるようになったため、発癌の可能性は残るものの、投与開始の時点でもほどの非代償性肝硬変でない限りは、肝不全になって死亡することはほぼ考えられなくなりました。同様に、C型肝炎に対しても、2014年以後の経口抗ウイルス薬（DAAs）療法の登場によって、インターフェロン時代と比べてはるかに容易に、しかもほぼ確実にウイルス除去が可能になりました。

このように治療法が進化した現在の状況では、肝炎のスクリーニング検査を受けたことがない人達、検査を受けていて肝炎の疑いがあるにも関わらず肝臓専門医を受診していない人達、をいかに拾い上げていくかが問題になります。肝炎のスクリーニング検査を受けたことがない人達については、一般社会に向けての広報・啓蒙と定期的な住民健診などのしくみが必要となりますが、今回取り上げるのは後者の、肝炎のスクリーニングでHBs抗原・HCV抗体検査が行われていずれかが陽性であったのに、肝臓専門医を受診していない症例がどのくらい存在するのか、および、それに対して今後どのような対策をとっていくのか、ということについてです。

<飯塚病院肝臓内科以外でのHBs抗原陽性・HCV抗体陽性者数>

HBs抗原陽性者数と検査後3ヶ月以内の肝臓内科受診率

年	陽性件数	陽性者数	肝臓内科受診者数(%)	肝臓内科未受診者数(%)
2016	44	41	21 (51.2%)	20 (48.9%)
2017	36	31	12 (38.7%)	19 (61.3%)
2018	43	35	16 (45.7%)	19 (54.3%)
2019	34	26	9 (34.6%)	17 (65.4%)
2020	25	19	13 (68.4%)	6 (31.6%)
2016-20	182	152	71 (46.7%)	81 (53.3%)

HCV抗体陽性者数と検査後3か月以内の肝臓内科受診率

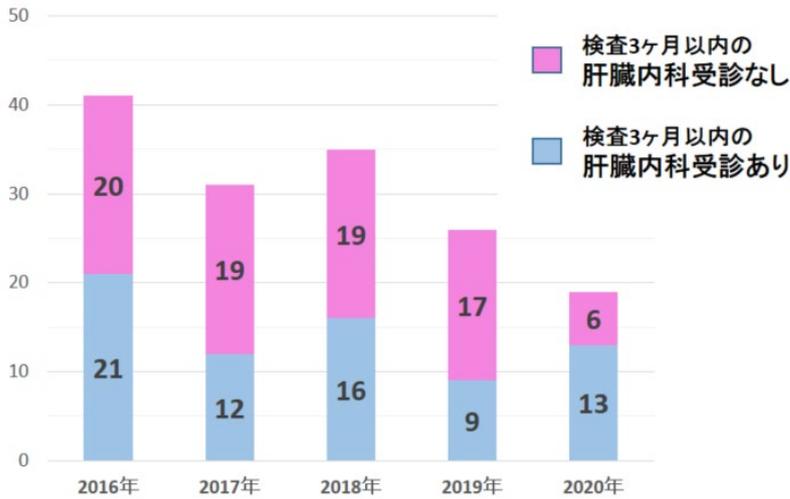
年	陽性件数	陽性者数	肝臓内科受診者数(%)	肝臓内科未受診者数(%)
2016	523	461	120 (26.0%)	341 (74.0%)
2017	488	404	115 (28.5%)	289 (71.5%)
2018	565	461	102 (22.1%)	359 (77.9%)
2019	509	406	100 (24.6%)	306 (75.4%)
2020	345	254	61 (24.0%)	193 (76.0%)
2016-20	2430	1986	498 (25.1%)	1488 (74.9%)

2016年1月1日～2020年9月30日 飯塚病院

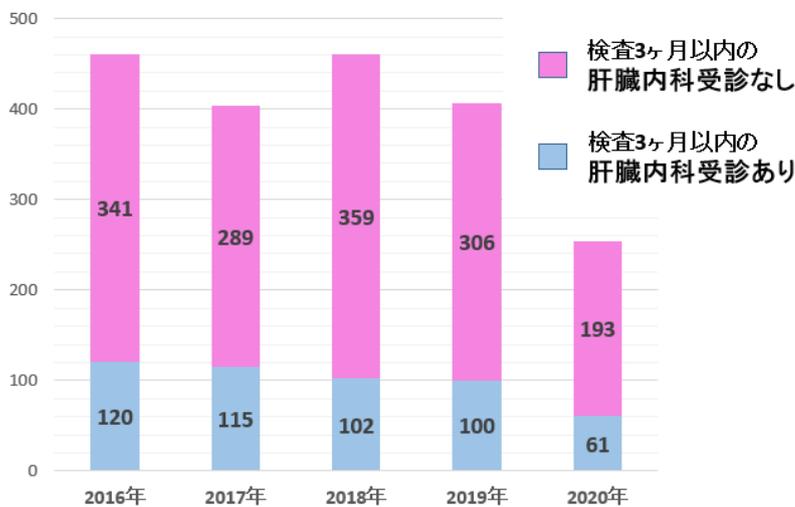
飯塚病院でも、手術などの治療前や内視鏡検査前のスクリーニングなどとして相当な件数のHBs抗原・HCV抗体が調べられています。肝臓内科を除く飯塚病院の全診療科で提出された検査において、毎年どのくらいの陽性の結果が出ているのか調べてみました。まず、飯塚病院の情報システム室という部署に依頼して、直近5年間のHBs抗原陽性・HCV抗体陽性者と、検査から3ヶ月以内に肝臓内科に受診した履歴があるかどうかを抽出してリストにしてもらいました。

このリストにあるHBs抗原陽性・HCV抗体陽性者の人数が左の表の「陽性件数」になります。

肝臓内科以外でのHBs抗原陽性者数の推移



肝臓内科以外でのHCV抗体陽性者数の推移



この中には、同じ人が複数回検査されている重複例がかなり含まれているため、各年のリストから重複を削ったのが「陽性者数」です。このうち、肝炎スクリーニング検査から3ヶ月以内に肝臓内科受診歴があった比率を見てみると、5年通算ではHBs抗原陽性者のうち46.7%、HCV抗体陽性者のうち25.1%という結果でした。

ちなみに5年間の人数の推移をグラフにすると左のようになります。HBs抗原陽性者・HCV抗体陽性者ともに漸減しているようにも見えますが、2020年は9月末までの9ヶ月分で、加えてコロナ禍で手術・検査件数が影響されている可能性もあり、現時点では減少傾向と言ってよいかわかりません。

あくまでも、条件設定によって抽出されたリストによる数値であって、各症例の詳細を調べたわけではないので、実際には多くの患者さんが他院に通院して定期的な検査・治療を受けている可能性もあります。また、HCV抗体が陽性でもウイルスがすでに自然消失していることも考えられ、この場合は定期的なエコー検査などによる肝癌スクリーニングが必須ではありません。

ただ、これらの可能性を考えたとしても、数値を見る限りでは、せっかくウイルス肝炎スクリーニング検査を受けたにもかかわらず、相当

な数の肝発癌ハイリスク者が肝臓専門医を受診しないままにいる可能性があることが判明しました。

なお今回の調査では、飯塚病院で何件の検査が行われてこれらの数の陽性者が出たのか、というデータは出していない。この点も含めて検討されたオープンアクセスの日本語論文が出ていました(肝臓61;367-373:2020)。この論文によると、福井県内の全病院に対するアンケート調査を集計した2017年度の肝炎ウイルス検査総数は、C型肝炎99,207件、B型肝炎112,926件で、陽性はC型2,525件(2.6%)、B型2,217件(2.0%)でした。ちなみに、肝炎ウイルス陽性者の肝臓専門医紹介率は、C型肝炎では全体で883件(35.0%)と非常に低いことが判明し、病院カテゴリー別では、肝臓専門医存在総合病院44.0%、肝臓専門医不在総合病院2.4%、単科病院・開業医32.0%(肝臓専門医を除くと25.6%)と報告されていました。この数値と比べると、残念ながら飯塚病院の状況は肝臓専門医存在総合病院としては良いとは言えないようです。

<飯塚病院としてのHBs抗原陽性・HCV抗体陽性への対応>

以前から他科で検査を受けたウイルス肝炎患者の拾い上げは課題とされてきましたが、C型肝炎の経口抗ウイルス薬DAA治療が始まってからは、製薬会社の後押しも加わって、さらに強調されるようになりました。実は飯塚病院肝臓内科では、5年前にも今回のような実態調査を行って陽性者数が多いことを確認していたのですが、このような陽性者が発癌や非代償性肝硬変で受診する事態が頻発しているわけではなかったこともあり、業務に余裕が出来たら詳細を調査して対策を考えよう、という程度の認識でした。

しかしながら、平成30年の診療報酬改定で「肝炎ウイルス検査結果の適切な説明の実施促進」のうち、手術

前医学管理料という項目において、「本管理料に包括されている肝炎ウイルス関連検査を行った場合には、当該検査の結果が陰性であった場合も含め、当該検査の結果について患者に適切な説明を行い、文書により提供すること」という文言が追記されました。さらに、福岡県の肝疾患診療連携拠点病院である久留米大学病院から肝炎ウイルス検査陽性者の拾い上げに関する毎年のアンケート調査があり、飯塚病院として対応するしくみを作るように促される状況になっていました。そこで、協議を重ねた結果、HBs 抗原陽性・HCV 抗体陽性者に対して、肝臓内科から以下のような文言を、検査を行った各診療科の外来カルテに貼付することとしました。

(HBs抗原陽性用メッセージ)

「当患者さんは、B型肝炎ウイルス持続感染者で肝発癌高リスクであり、身体状況(末期など)や高度の認知症などの問題がなければ、定期的なエコー検査を受ける必要があります。また、ウイルス量が多い人は治療を受ける必要があります。これらのことを本人が知らない場合も多いので、お手数ですが病歴をご確認いただき、他院で肝臓専門医の診療を受けていなければ、当院の肝臓内科へ御紹介ください。医療安全推進室・肝臓内科」

(HCV抗体陽性例用メッセージ)

「当患者さんはHCV抗体陽性でした。お手数ですが病歴をご確認いただき、c型肝炎について他院で肝臓専門医の診療を受けていなければ、当院の肝臓内科へ御紹介ください。なお、この件は貴科での治療スケジュールに優先するものではありません。医療安全推進室・肝臓内科」

文言の内容について、B型肝炎とC型肝炎で違いがあるのは、C型肝炎は各診療科での侵襲的な治療や免疫抑制剤投与があっても病態の大きな変化を生じる可能性は低いため、各科での治療が一段落ついた後の肝臓内科受診で十分ですが、B型肝炎は状況次第で激しい急性増悪を示す可能性があるため、各科での治療前に肝臓専門医が関わっていたほうが良い、という事情の違いを反映したものです。

飯塚病院としては、とりあえずこのシステムを始めてみて、肝臓内科受診率の推移をモニターしていきながら、もしも改善が見られなければ、より強制力が強い内容に変更していくことにしました。どのような経過になったかについては、いずれ機会がありましたら先生方に報告できたらと思います。

さて、かなり長い間C型肝炎関連の話題をつづけてきましたが、次号からは肝細胞癌関連の内容について述べて行きたいと思います。

	月	火	水	木	金
本村 健太		○/●	○/●	●	
矢田 雅佳		○/●		○/●	●
田中 紘介		●	○/●	●	
栗野 哲史	○		●		●
森田 祐輔	●				○/● (10:30~)
増本 陽秀	●				●

□外来スケジュール 受付時間 (○初診・●再診) 8:00~11:00